



釧公大だより

A Aurora



「白面」作者：木村 久遠（経済学科3年）

東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。
ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

CONTENTS

- 学長メッセージ……………2
- 新任教員紹介……………3
- 新カリキュラム開始・トピックス…………4
- 公開講座のご案内……………5
- 就職戦線最新情報・
キャリアセンターだより……………6
- 活躍する公立大生・保健室だより…………7
- インフォメーション・図書館だより…………8



暑い、されど涼しい釧路で考えたこと

釧路公立大学学長 白川 欽 哉

昨年に続く暑い8月を憂いているのは、私ばかりではないでしょう。「釧路らしくない」という声が至る所で聞かれるようになりました。最近よく話題にのぼるのは、家にクーラーを設置したかどうか。「北海道は冷房要らず」、「ましてや釧路では」という常識は、ここ数年で崩れつつあるようです。

以前と比べて釧路の気温はどれくらい高くなったのか、それは今後も続くのかなと思いつつ、気象庁のホームページを閲覧してみました。2015年（平成27年）の記録に依れば「15℃を下回る日が多い6月」ののち、「20℃を超える日が増え始める7月」、「23℃～25℃以下の日が多い8月上旬」、「お盆過ぎに20℃前後になる8月」という状況を確認できました。それが2023年になると「20℃を超える日が多い6月」、「月の半分が24℃～25℃の7月」、「月の半分が25℃～28℃の8月」となり、今年2024年は、さらに気温上昇とその長期化が顕著です。連日の天気予報を見る限り、本州、四国、九州の猛暑はご承知の通り。北海道でも日本海側の日高以西、オホーツク地方では、以前よりも夏の厳しさが増えています。

暑さだけでなく、短時間強雨や大雨などによる自然災害が頻発する兆候もみられます。2016年（平成28年）8月の豪雨による激甚災害以降、北海道でも大雨・暴風雨による被害が毎年のように発生するようになりました。

本年8月21日に釧路公立大学で開催されたオープンセミナーでは、中央大学研究開発機構の山田正教授ならびに北海道開発局釧路開発建設部の坂憲浩部長から、気候変動による北海道の水害の現状とその対応策について貴重なお話をうかがうことができました。それを受けて、これまで猛暑も台風の被害も少なかった釧路でも、今後は例外ではないことから、まずは地域の防災対策を、そしてより根本的には世界レベルでの地球環境問題に関する啓蒙活動を、産官学協同の取組として進めていく必要があると強く感じました。

その際重要なのは、やはり若者の好奇心と科学的な探究心です。本年7月に北海道教育大学釧路校、釧路工業高等専門学校とともに、釧路湖陵高校のアカデミックインターンシップと協同する機会を得ま

した。本学を来訪してくれた高校生が持ち寄ってくれた19の探究計画のうち、7件が環境保護を、3件が防災をテーマとするものでした。SDGsへの関心が若い世代に浸透しているように感じ、そうした問題意識に大学も寄り添っていかねばなりません。

気候変動の原因はどこにあるのか。周知の通り「温室効果ガス（とくに二酸化炭素＝CO₂）の濃度増加」に由来する「地球温暖化」が主要因といわれています。では「その温暖化の原因は？」とさらに突き詰めてみると、私たちが大学でも学ぶ18世紀の産業革命以後の工業化とその世界的拡大（現在も進行中）による化石燃料消費の急増に行きつきます。また「森林破壊によるCO₂吸収量の減少」という問題も決して無視できません。私事になりますが、営林署職員だった父が、40年以上前に河川が豪雨に堪えられなくなる時代がやって来る、植林事業や公的な森林管理が必要だ、ということを感じて語っていたことを思い出します。

人類史は自然との闘争の歴史でしたが、自然の観察を通じて得られた知識は、のちに科学技術に体现され、地域的偏在・格差はあるものの、総じて人類にとって快適な生活が生み出されてきました。他方で、『サピエンス全史』を著したユヴァル・ノア・ハラリ氏は、『ホモ・デウス』で科学の功罪、とりわけ自然と闘うだけでなく、自然を超越する全能の神ゼウスに近づこうとしている人類の倫理観に警鐘を鳴らしています。一方でSDGsを主張し、他方でさらなる経済成長＝富を追求する私たち。ジレンマのなかで最適解を追究するのも私たちですが、自然はどこまで人類の試行錯誤を許容してくれるのでしょうか。

暑い釧路の話をし始めて、後半は少しばかり硬い話をしてしまいました。8月下旬に入り、全国各地の気温と比較すれば、まだまだ「涼しい」釧路に変わりはありません。以前のようにもう少し涼しいほうが良い、というのであれば、多くの人が自然との関係を理解したうえで改善の努力をする必要があります。この幸せがいつまで続くのか。「人間だけでなく、自然にも優しい」社会の構築をコンセプトに、ともに考えていきましょう！



新任のご挨拶

講師 **福 富 隆 志**

(担当科目：心理学、認知科学、教育心理学(教)、教育相談(教))

本年度より着任しました福富隆志です。私は大学生・大学院生時代を東京で過ごし、その後3年間を宮崎の大学で勤めました。私の祖父が樺太出身なことを除いては、北海道、特に釧路とはほぼ縁がありませんでした。大学教員として、新しい文化に触れられることを楽しみにしております。

私の専門は教育心理学であり、特に動機づけに関心があります。動機づけは一般的に「やる気」と言われますが、それとは少し異なり、やる気の「質」も含んだ概念です。例えば、「興味があるから勉強する」など、その

行動自体を目的とするやる気は内発的動機づけ、「良い大学に受かるために勉強する」など、その行動が別の目的の手段となるやる気は外発的動機づけと呼ばれます。

高校生時代の私は、まさにこの外発的動機づけでした。つまり、「有名大学に合格する」という理由でしか勉強をしておりませんでした。その結果、志望校には受かったものの、その後はほとんど勉強をしませんでした。勉強自体に興味を持っていませんから、当然です。その後、何事にも興味を持たず、就活もうまくいきませんでした。

そこから私は、生徒に勉強自体に興味を持ってもらえるような教育がしたいと思い、今の道に進みました。研究内容に紆余曲折はありますが、根本的な願いは今も変わっておりません。

したがって私は、大学生には夢中になれる何かを見つけてほしいですし、教職課程の学生には、生徒を何かに夢中にさせられるような教育者になってほしいと思っております。今後とも、よろしく願いいたします。



新任のご挨拶

講師 **安 藤 奏 音**

(担当科目：自然保護学、自然地理学、環境科学概論、環境地理学)

本年度より着任いたしました安藤奏音です。私の研究分野は、大きな区分で言えば自然環境学、水圏生態学、ランドスケープ科学などに該当します。専門は観光洞窟の水辺における人為影響評価とそれに基づく環境計画論です。現地と実験室での水質測定、微生物実験などを行い、生物の個体数や種数との関係を統計分析することにより、人為影響を明らかにします。このような自然科学の手法の実施から、導入すべき保全策がある程度見えて

きますが、実際に決定するのは現場管理者の方々です。この点に学融合の必要性を感じ、博士論文では観光洞に携わる人々を対象とした社会調査を実施した上で、今後の環境計画を論じました。

前職の大学では河川の人工再生池や都市緑地などで調査を行う機会があり、地表デビューを果たしました。釧路公立大学は大湿原に抱かれるような立地で、サンプルの採取活動においてきわめて恵まれた環境です。今後、調査地・対象生物をますます拡大させ、自然と人間が関わり合う現場に関する統合知を深めていくことを楽しみにしています。せっかく文系の先生方が多い大学とご縁を賜りましたので、分野横断的な調査手法を個人的に実施するに留まらず、共同研究を通して一緒にこの地域の自然環境と向き合うことが一つの目標です。どうぞよろしく願いいたします。



新任のご挨拶

講師 **飯 島 直 樹**

(担当科目：日本史、日本近代史、北海道の歴史)

今年度より着任しました飯島直樹と申します。私は千葉県出身で東京を中心に研究・教育活動を行ってきました。着任するまで北海道は未踏の地でしたが、今回ご縁に恵まれ釧路の地にやってきました。半年ほど生活しておりますが、スーパーにこれでもかと立ち並ぶ鮮魚・肉類すら物珍しく、さらに夏場の涼やかな気候と視界を覆いつくすほどの霧、学生に交じって我が物顔で大学に遊びに来る鹿の群れなど、東京とは一線を画す自然豊かな環境に囲まれながら、見るもの、食べるもの全てが新鮮で刺激的な日々を送っております。北海道随一の寒冷地帯と伝え聞く冬の釧路ではどのような体験ができるのか、今から楽しみでなりません。

さて、私は日本史、特に近現代史(明治期以降の政治史・軍事史)を専門に研究活動を行っています。本学では「日本史」「日本近代史」「北海道の歴史」など、1年次から受講可能な歴史系の教養科目を主に担当します。歴史科目といえば、暗記科目でとっつきにくいイメージを持つ方も多いかと思えます。

そこで、私の授業では「教科書とはちょっと違う日本史」と題して、皆さんが中学高校で学習したトピックについて「なぜ」その戦争や事件が起こったのか、「なぜ」その政策が必要だったのかといった、歴史の「なぜ？」を深く考えてもらいます。皆さんが頑張ってきた暗記してきた歴史的な事柄は決して無駄な知識ではなく、先人たちの営みから導出される「教訓」として、私たちの日々の生活や仕事、人間関係にも重要な指針を与えてくれるものであることを実感してもらえればと思いますので、ぜひ受講してみてください。

今後ともお世話になりますが、どうぞよろしく願い申し上げます。

新カリキュラム開始

学生は大学の外へ飛び出して！

本年度入学生よりカリキュラムを大きく変更しました。カリキュラム改定の一歩のポイントは学科別入試から学部一括入試への変更で、学生は1年間の学修を通じて経済学科の経済コースと地域社会コース、経営学科の経営コースという3つのコースから1つを選択するかたちになりました。この変更にあわせて、もう一度「地域に結びつき開かれた大学」という建学の理念に立ち返り、学生にはできるだけ大学の外へ、地域へ出て学ぶ機会を提供したいと考えています。というのも、せっかく大自然の残る道東に進学したにもかかわらず、そうした地の利を生かすことなく卒業してしまう学生が思いのほか多いからです。

三つの建学の理念では、「地域」以外にも「国際性」の重視や「理論と実践」の相乗を謳っています。いずれも大人数を対象にした一斉の講義には不向きです。そこで新カリキュラムでは演習形式の少人数教育の充実を図りました。具体的には、「教養演習」や2年生に必修の「プロゼミ

ナール」を新設するとともに、1年生必修の演習では学年共通で学外活動が行えるように従来の「基礎演習」を「初年次ゼミナール」へ衣替えしました。

本年度の初年次ゼミナール共通の学外活動として釧路市立博物館見学ツアーが実施されました。6月12日と19日の2週にわたり4班に分けて博物館を訪れ、館内を見学するとともに学芸員の方からレクチャーを受けました。学生は当日見聞きした内容を各自レポートにまとめましたが、そこからはこの地域の歴史・文化・自然・産業などに関心を持つきっかけになったことが読み取れます。博物館の持つ地域の知の宝庫としての性格を知り、「自分でもまた来てみたい」といった感想や「新たにこの地域について知りたいことが湧いてきた」といったコメントを見るにつれ、改めて学生が地域とかかわりを持てる施策の重要性に気づかされました。

次年度以降もこの地域の特性と魅力に学生が気づけるような共通プログラムを充実させていこうと考えております。（神野 照敏、加藤 一郎）



トピックス

空港広告について

旅行などで釧路を楽しんでくださった方々に釧路に公立大学があることを知ってもらうきっかけづくりとして、令和6年6月27日に釧路空港の搭乗待合室に広告ポスターを設置いたしました。空港にお立ち寄りの際はぜひご覧ください。



令和6年度釧路公立大学公開講座

共通テーマ「物事をとらえなおす」

■申 賢洙 教授

講演テーマ 世界の近代小売業の誕生物語

概要 私たちは日々、スーパーやコンビニ、百貨店、あるいはカタログショッピングなど、色々なタイプのお店を利用しながら消費生活を送っています。皆さんは、私たちが何気なく利用するこれらの小売業が、いつ、どこで、そしてどのような背景のもとで誕生したのかについて考えたことはありませんか。本講義では、19世紀から20世紀初頭にかけて誕生した欧米の近代的小売業の特徴や時代的背景、そして小売業の革新などについてお話しします。

■大澤 勝文 教授

講演テーマ 羽田周辺探訪

概要 東京・羽田空港は、飛行機を利用する機会の多い道民にとって“身近”な場所ですが、ほとんどの方にとっては目的地への通過点にすぎないでしょう。羽田空港周辺地域（東京都大田区）は、今でこそマンション・住宅が建ち並ぶ都会の一角ですが、古くは江戸前の海苔養殖、戦後は中小機械金属工場の密集する町として知られてきました。この講座では、飛行機の待ち時間などを利用して探訪できる羽田周辺の様子を、産業・町並みの変遷をたどりながら紹介していきます。

■本間 義啓 准教授

講演テーマ 「動物」について何を考えればよいのか

概要 動物について考えることは人間について考えることです。アリストテレスは、動物は言語を持たぬ存在であるとし、理性を持ち言葉を話すという特徴によって人間の優位性を考えようとしてきました。近年では、動物は人間の残酷を映し出す鏡となっています。工場式畜産によって生産される動物を考えてみてください。動物は人間のために犠牲に供される存在でしかないのでしょうか。人間に必要な不可欠なサービスを提供する哀れな存在としてではなく、もっと別の仕方動物について考えることはできるのでしょうか。

■小阪 裕城 准教授

講演テーマ 人種問題から読み解くアメリカの過去と現在
～ジョージ・フロイドのファミリーヒストリーから考える～

概要 アメリカ大統領選挙が目前に迫ってきました。1回の講義で選挙を取り巻く様々な論点を包括的に論じることはできませんので、本講座では前回2020年の大統領選挙においても重要な争点となった人種問題を切り口として取り上げます。2020年5月に警察の不当な暴力の犠牲となったジョージ・フロイドのファミリーヒストリーをより大きな歴史のなかに位置づけながら、アメリカの政治と社会を展望する糸口を提示してみたいと思います。

■釧路公立大学公開講座 1回目

日時	10月2日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 1階 大講義室1
講師	申 賢洙 教授
演題	世界の近代小売業の誕生物語

■釧路公立大学公開講座 2回目

日時	10月4日(金) 18:30~21:00
場所	阿寒町公民館 2階 視聴覚室
講師1	大澤 勝文 教授
講師2	小阪 裕城 准教授
演題1	羽田周辺探訪
演題2	人種問題から読み解くアメリカの過去と現在 ～ジョージ・フロイドのファミリーヒストリーから考える～

■釧路公立大学公開講座 3回目

日時	10月9日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 1階 大講義室1
講師	本間 義啓 准教授
演題	「動物」について何を考えればよいのか

■釧路公立大学公開講座 4回目

日時	10月16日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 1階 大講義室1
講師	小阪 裕城 准教授
演題	人種問題から読み解くアメリカの過去と現在 ～ジョージ・フロイドのファミリーヒストリーから考える～

■釧路公立大学公開講座 5回目

日時	10月23日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 1階 大講義室1
講師	大澤 勝文 教授
演題	羽田周辺探訪

- ・大学会場：釧路公立大学 1階 大講義室1
釧路市芦野4丁目1番1号
- ・阿寒町会場：阿寒町公民館 2階 視聴覚室
阿寒町中央2丁目4-1
- ・受講無料
- ・対象 高校生以上
- ・受講方法 お申込みの必要はありません。
- ・お問合わせ 釧路公立大学 総務課

就 | 職 | 戦 | 線 | 最 | 新 | 情 | 報

卒業予定者の内定先リスト (現在の内定状況) 2024/9/10

(50音順)

- 農林漁鉱業 大矢根農場
- 建設業 Grant、スミセキ・コンテック、ドーコン、中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京、ビッグ測量設計、北電興業、北海電気工事、北海道セキスイハイム、丸本組、村井建設
- 製造業 カチタス、キオクシア岩手、長府製作所、道東飼料、道東製めん、日立製作所、ホクレンくみあい飼料、牧家、ミナリスメディカル、もりもと、ヤマサ醤油、よつ葉乳業
- 卸売・小売業（卸売業） グリムス、国分北海道、新栄クリエイト、三ッ輪商会、モロオ、ヤマタネ
- 卸売・小売業（小売業） アイ・ティー・エックス、アインホールディングス、旭川スズキ販売、いーふらん、イオン北海道、IDOM、エムデジ、コスモス薬品、サンデー、サンドラッグ、サンドラッグプラス、成城石井、セコマ、ツルハホールディングス、道北アークス、東名、トヨタモビリティ釧路、日産部品群馬販売、ニトリ、ファーマライズホールディングス、福原、まいばすけっと、ラルズ
- 金融・保険業 旭川信用金庫、網走信用金庫、岩手銀行、帯広信用金庫、北見信用金庫、釧路信用金庫、損害保険ジャパン、第四北越銀行、大地みらい信用金庫、筑波銀行、道南うみ街信用金庫、ニッテレ債権回収、日本銀行、日本生命保険、北都銀行、北洋銀行、北海道銀

行、北海道信用保証協会、北海道労働金庫、丸三証券、明治安田生命保険、山形銀行、ゆうちょ銀行

- 電力・ガス いちたかガスワン、北海道電力
- 運輸・情報通信業 アースリンク、アイエックス・ナレッジ、エイチ・エル・シー、HDC、エクナ、SIG、SCSK北海道、エムコスミック、栗林商会、シイエヌエス、ソリューションプラス、長野電鉄、日興システムソリューションズ、日本通運、BIPROGY、三ッ輪運輸、ヤマト運輸
- 不動産業 リビングライフ
- サービス業 あいプラン、アクティオ、SDエンターテイメント、音更町農業協同組合、帯広大正農業協同組合、クオレガ、小清水町農業協同組合、志戸平温泉、ジリオン、税理士法人さくら総合会計、全国共済農業協同組合連合会北海道本部、セントラルスポーツ、第一岸本臨床検査センター、地域生活支援ネットワークサロン、日本KFCホールディングス、日本年金機構、ノーザンミツワ、日立社会情報サービス、フォーイット、ヘルスベイシス、ホールハートスタッフ、ホクレン農業協同組合連合会、星野リゾート、北海道エアポート、北海道大学、北海道農業共済組合、マイナビ、吉岡経営センター、リゾートトラスト
- 国家公務 厚生労働省（北海道厚生局）
- 地方公務 秋田県警察、帯広市役所、釧路市役所、五所川原市役所、長野県庁、新潟県警察、函館市役所、北海道庁

キ | ャ | リ | ア | セ | ン | タ | ー | だ | よ | り

希望の進路実現に向けて

普段話していると好印象なのに面接が始まると、とたんにギクシャクしだす学生がいます。いわゆる面接下手なタイプです。

その原因のほとんどが“面接用の自分”への変身です。ヒーローは変身すると強くなるものですが、就活においては“面接用の自分”へ変身すると自分の良さや魅力を封じ込めてしまうことがあります。

様々な形で流布されている“就活マニュアル”は万能の変身アイテムとは限りません。

マニュアル通りの話法や作戦を信じるあまり、接客のアルバイトで現場の柱として活躍した経験を語らなったり、在学中に取得した証券外務員の資格をあえて伏せて金融機関の面接に臨んだり、“面接用の自分”が本来の良さや強みを横に追いやってしまいます。

面接は自分の筋書き通りには進まぬものだから、考えすぎず、出し惜しみせず、自分をさらけ出してくるよう伝えていきます。

後期に実施する就職対策事業

9月	一般常識対策模擬試験 就活スタート・自己分析講座
10月	履歴書対策講座・添削 ミニ業界研究会 企業訪問報告会 筆記試験対策講座 OB・OGに聞く～仕事のアレコレ～（民間企業） エントリーシート攻略講座・添削 TOEIC IP 試験
11月	面接対策講座（基礎編） 模擬面接（集団） WEB SPI 受検会 OB・OGに聞く～採用担当者が考える「こんな人が欲しい！」～ 面接対策講座（応用編） 模擬面接（個人） 内定者による就職相談会
12月	業界研究会 OB・OGに聞く～仕事のアレコレ～（公務員） 2年生のための就活プレ講座
1月	公務員試験説明会
2月	就活直前対策ESブラッシュアップ講座 2年生のためのインターンシップ基礎講座 就活準備お役立ち講座 就活準備総まとめ講座 就活準備レベルアップ講座

国際交流部

部長 経済学科2年 山口 純輝

こんにちは、この秋から国際交流部の部長を務めます、経済学科2年の山口純輝です。

国際交流部では主に3つの活動を軸としています。1つ目は釧路国際交流の会が主催している活動です。釧路国際交流の会では、釧路に住んでいる外国人との交流会や、釧路港に寄港するクルーズ船で訪れた外国人観光客に向けて、外国語で釧路市周辺の観光地や商業施設などを案内する活動を行っています。私たち国際交流部も、これらの活動に参加することで、実践的な語学力を身に付けようと意欲的に学習したり、地域の活性化のために何ができるかを考えたりと、グローバルでローカルな視点から釧路の地域性を学んでいます。2つ目は学内での外国語勉強会です。この活動では、英語と韓国語を中心に週に一度集まり、コミュニケーション力を養うことを目的としています。特に韓国語では、韓国人留学生が文法や発音を丁寧に分かりやすく教えてくれます。そして3つ目は北海道教育大学釧路校や釧路高専の学生との交流です。今

年7月に第一回国際交流カフェが開かれ、バックグラウンドや国籍の枠を越えた交流をすることができました。第二回以降では「国際交流」だけでなく、例えば3Dプリンタを使った工作のような、子どもから大人まで皆が楽しめるイベントを企画していきたいです。

そして、いつしか国際交流部が「地方創成を担う若者の活躍」に期待する地域の方々の声に応えられるような団体になることを願っています。だからこそ、失敗を恐れず積極的に活動していきます。



保健室だより

保健室では、学内での体調不良時や怪我に対して、保健師や看護師による応急処置・救急対応などを行える体制が整えられています。また、学生定期健康診断の実施や学生からの健康相談も行っておりますので、お子様のことで気になることがありましたらご連絡ください。

また、臨床心理士の資格を持ったカウンセラーによる「心の相談」を月に数回実施し、相談に応

じています。話すことで、精神面が安定することがあります。まずは、気軽に保健室を活用してみてください。少しでも安心して学生生活を送れるよう、お手伝いさせていただきます。

☆保健室の開室時間 9:00～18:00（平日）

☆電話番号（直通） 0154-37-5390

☆メールアドレス hoken@kushiro-pu.ac.jp

釧路公立大学へのご寄附について

釧路公立大学では個人や企業・団体の皆様より、学生教育や学術研究の充実・発展を目的とする寄附をお願いしております。寄附金に対して、所得税法及び法人税法による税制上の優遇措置を受けることができます。申込方法など、詳しくは釧路公立大学のホームページをご覧ください。

K.P.U. フェスタ2024

K.P.U.フェスタ実行委員会委員長
経済学科2年 野村 晨矢

皆さんこんにちは。K.P.U.フェスタ実行委員会委員長の野村です。釧路の地にも秋がやってきて、大学祭の季節となりました。今年度は私たち実行委員にとっては試練の年となりました。私自身まだ第二学年の身でありながら人員不足の面から実行委員長という身に余る役職を授かることとなり、また運営には人員も足りず一時は学祭と実行委員会存続の危機すらありました。しかし部員募集を見直し、冬から地道に取り組んだ結果、春には新たに会計担当となった同学年の仲間や新入生ながらも積極的に動いてくれる一年生たちなど、素晴らしい仲間が集まってくれました。また去年から自分とともに頑張ってくれている副部長や心配し

て積極的に協力してくれたOB、OGの先輩方等々、多くの人たちの協力のもとで未熟な身ながらも無事開催にまで辿り着くことができました。

また、今年のK.P.U.フェスタはコロナ前のように多くの企業の協賛によって成り立っており、露店も今年は10を超える参加のおかげで屋外での開催となり、音楽祭でも地域の小学校との合同演奏など多くの皆様による協力によって去年以上の盛り上がりとなる事が期待できると思われまます。これらの内容から私達は今年度の学祭のテーマを「再誕祭」とし、去年よりも盛り上がることを目標に準備を進めて参りました。そしてその頑張りもあってか、多くの方々の協力を得ることができました。

この大学祭を開催するにあたって協力して下さった全ての人達にこの場を借りて深い感謝を申し上げます。この祭りが、誰かにとって素晴らしき日になることを願っております。

図 | 書 | 館 | だ | よ | り

附属図書館には、読みやすい小説や雑誌から国内外の学術書まで、約27万5千冊の蔵書があります。

さらに、簡単な手続きで、学内だけでなく道内の大学図書館に直接赴いて利用することや、釧路にいなながら全国の大学図書館から図書を借りたり、資料の複写を取り寄せたりすることもできます。

このように、附属図書館では、数多くの図書資料を提供できる体制を整え、教員や学生の研究・学習活動を支えています。

インターネット上の情報は常に身近にあり便利で

手に取りやすいですが、学生の方々にはぜひ、附属図書館から得られる情報を活用して、学生生活を一層充実したものにしていただきたいと思います。

そして、本学の建学理念の一つである「地域に開かれた大学」の一環として、釧路管内に居住又は勤務していることなど一定の条件はありますが、学生以外の方でも図書の閲覧や貸出などを利用することができます。

附属図書館のホームページに利用詳細が掲載されていますのでぜひご活用ください。

◎2024年度後期授業料の納付について

後期授業料は10月31日までに納めてください。ATMや金融機関での口座振込又は金融機関窓口にて同封の「振込依頼書」によりお振込みください。授業料の分割納付等を希望される場合は、受付期間中にフォームより申請を行ってください。申請方法など、詳しくは釧路公立大学のホームページをご覧ください。

表紙作品解説

「白面」

作者：経済学科3年 木村 久遠

わたしは道外出身で、この大学に入り初めて釧路を訪れました。まだまだ知らないことや見たことのないものは多く、いつも新鮮な気持ちで日々を過ごしています。3年となった今では年端もいかなとは言えない年齢になってきましたが、白を埋めるほどのものはなく未だ未熟です。この土地で少しでも白を埋めるものを増やしていけたらと思います。

釧路公立大学だより 第70号
2024年(令和6年)10月1日発行

◎発行元

釧路公立大学

〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号

TEL 0154-37-3211

FAX 0154-37-3287

経営企画課: TEL 0154-37-5089

URL: <https://www.kushiro-pu.ac.jp/>

◎発行日

毎年2回(4月1日、10月1日)